

鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議

日時：令和5年10月13日（金）

14時00分～

場所：鎌ヶ谷市役所6階

第1委員会室

－ 会 議 次 第 －

- 1 開 会
- 2 自己紹介
- 3 議題（議長）
 - （1）会議録署名人の選出について
 - （2）会議要旨説明
 - （3）「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和4年度事業に係る効果・検証」について
 - （4）その他
- 4 閉 会

【目次】

1	「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」	
	令和4年度事業に係る効果・検証について・・・・・・・・	1
2	「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」	
	令和4年度事業実績一覧・・・・・・・・	7
○	危機管理体制・防災対策の強化・・・・・・・・	7
○	消防・救急・救助体制の充実・・・・・・・・	11
○	良好な居住環境の確保・・・・・・・・	17
○	治水対策の推進・・・・・・・・	22
○	子育て環境の充実・・・・・・・・	26
○	保育サービス等の充実・・・・・・・・	32
○	学校教育の充実・・・・・・・・	36
○	児童・生徒の健康及び安全等の確保・・・・・・・・	43
○	快適な公園・緑地空間の創出・・・・・・・・	48
○	安全に利用できる道路環境の充実・・・・・・・・	51
○	魅力ある都市機能の充実・・・・・・・・	57
○	商工業の振興及び観光施策の充実・・・・・・・・	62

「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

令和4年度事業に係る効果・検証について

1 はじめに ～国と市の地方創生について～

国は、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保することを目指すため、平成26年度に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口の将来の方向などを提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、本ビジョンの内容を踏まえた5か年の政策目標や施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したところです。

これを踏まえて、本市は、平成27年度に、市における人口の現状や将来人口の推計、将来展望を踏まえ、目指すべき将来の方向を定めた「鎌ヶ谷市人口ビジョン」や、本市の地方創生を着実に進めていくための具体的な施策を定めた「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、各施策の推進に取り組んできました。

地方創生に関しては、国及び地方における総合戦略に基づき、本格的な事業展開を進め、令和元年度に5年間の事業期間が終了したことから、国では、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和元年12月に閣議決定し、引き続き地方公共団体と一体となって、地方創生の深化に取り組んでいます。

本市は、国の第2期総合戦略の策定を踏まえ、令和元年度に計画期間が終了する「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を1年間延長した「改訂版」を策定したところですが、令和3年度からは、「鎌ヶ谷市総合基本計画前期基本計画」に、「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含する計画として策定し、人口減少対策及び地方創生を進めるものとしています。

2 総合戦略の推進について

本市の「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「鎌ヶ谷市総合基本計画前期基本計画」における5つの基本目標を踏まえ、重点的かつ優先的に、また横断的に取り組むものとして定めた3つの重点プロジェクトを中心に推進しています。

この重点プロジェクトは、今後解決すべき課題、市民意識調査結果、社会情勢の変化等を踏まえて決定しています。

なお、本市は、企業版ふるさと納税に係る寄付を充当できる事業として、令和3年3月に策定した地域再生計画において、総合戦略の具体的な事業である重点プロジェクトを掲げており、毎年度1回、鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議による効果検証を行い、その結果に基づき、必要な改善を事業に反映することとしています。

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる 防災、減災のまちづくり



- 重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化
- 重点施策② 消防・救急・救助体制の充実
- 重点施策③ 良好な居住環境の確保
- 重点施策④ 治水対策の推進

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんな で応援するまちづくり



- 重点施策① 子育て環境の充実
- 重点施策② 保育サービス等の充実
- 重点施策③ 学校教育の充実
- 重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

プロジェクト 3

人が集い、住みたい魅力 のあふれるまちづくり

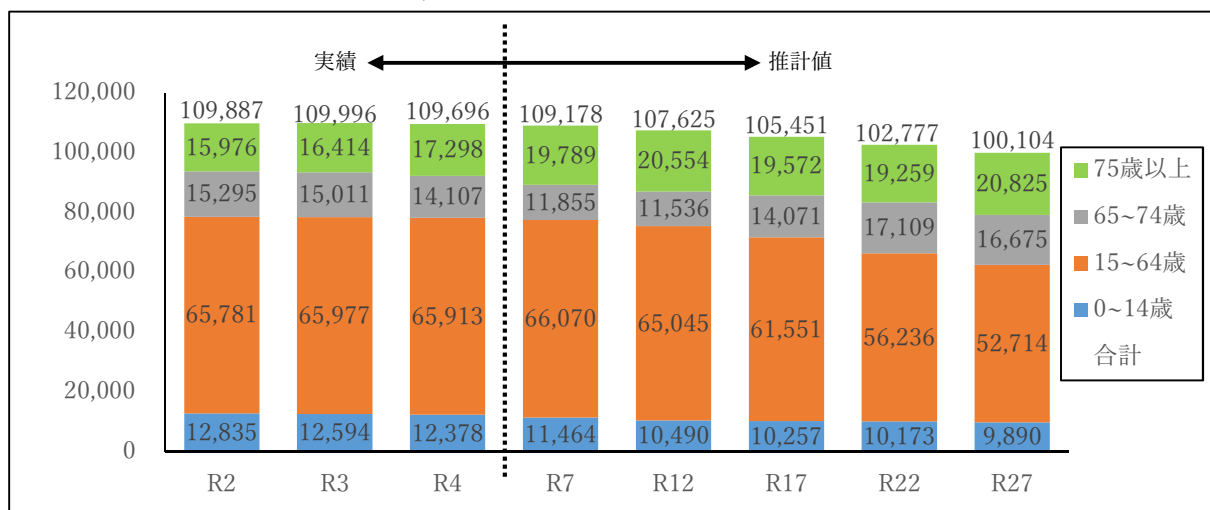


- 重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出
- 重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実
- 重点施策③ 魅力ある都市機能の充実
- 重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

3 本市の人口推計について

本市の人口は近年ほぼ横ばいで推移し、約11万人となっています。

一方、市が独自に実施した本市の将来人口推計によると、将来的には減少傾向となり、令和27年時点では100,104人になると見込まれます。

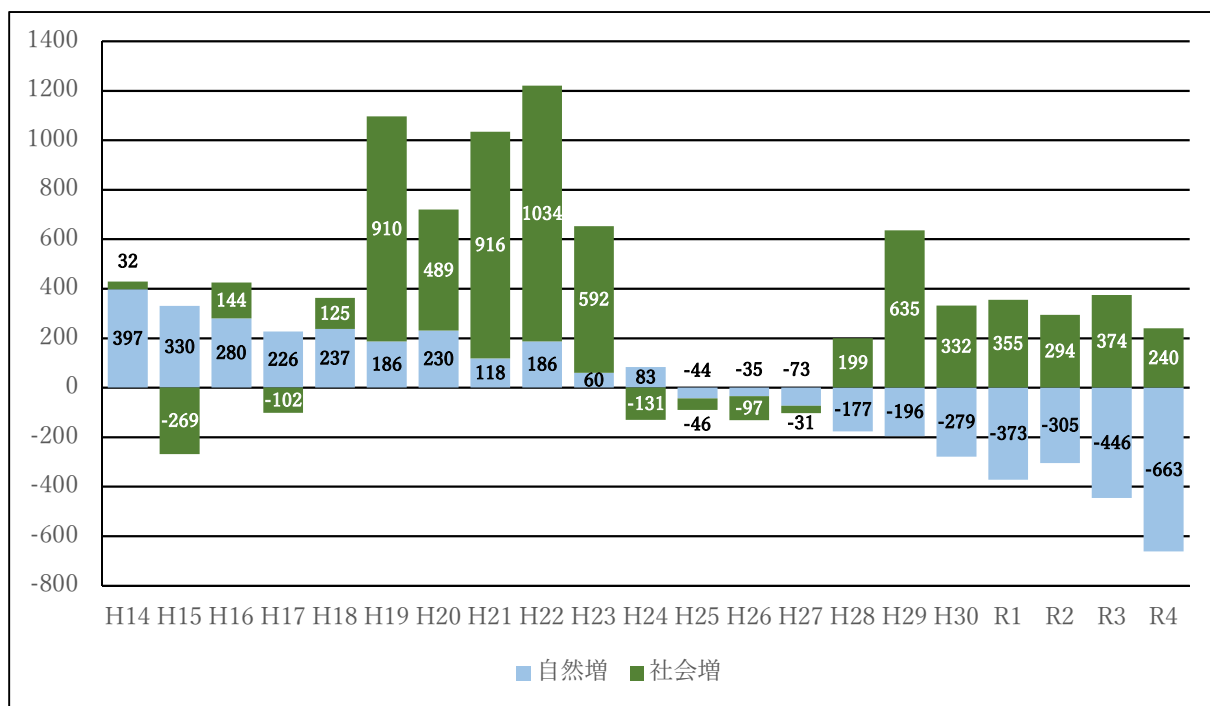


出典：統計かまがや 鎌ヶ谷市総合基本計画

4 要因別人口増減数の推移

社会増減（転入者数－転出者数）については、平成24年から平成27年までは転出超過が続いていましたが、平成28年以降は転入超過に転じています。

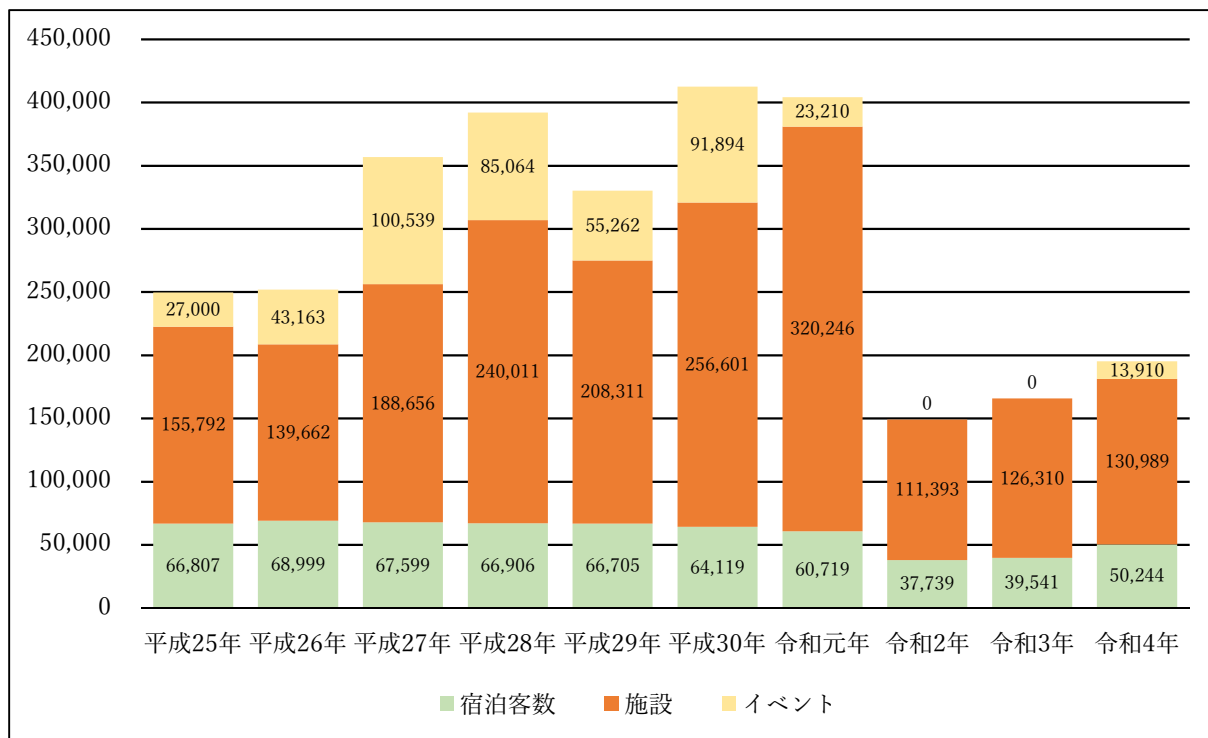
一方で、自然増減（出生－死亡）については、平成24年までは出生数が死亡数を上回っていましたが、平成25年以降は死亡数が出生数を上回っています。



出典：統計かまがや

5 観光入込客数の推移

観光入込客数は令和元年度まで増加傾向であったものの、新型コロナウイルスの影響を受け大きく減少しましたが、令和4年度においては回復傾向が見られます。



6 施策の効果・検証について

「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に実施するため、重点プロジェクトで定める施策ごとに、実績等を確認することで効果の検証を行います。

効果・検証にあたっては、その妥当性或客観性を担保するため、鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議において検証し、いただいたご意見を今後の施策展開に反映していきます。

7 令和4年度の取組結果等に係る評価について

上記「6」を踏まえ、市では、令和4年度の重要行政評価指標（KPI）（施策の状態指標及び施策の柱の成果指標）や主な事務事業の実績等の評価を行いました。

鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議では、これらの事業実績について、効果・検証を行ってまいります。

8 状態指標、成果指標の進捗状況

(1) 状態指標に係る進捗状況

達成状況	評価基準	状態指標数	構成割合 (%)
① 順調に推移している 又は基準値と同じ	直近の実績値が基準値(※1)を上回っているもの又は基準値と同じもの	14	58.3%
② 基準値より悪化している	直近の実績値が基準値を下回っているもの	※10	41.7%
合 計		24	100%

※1 鎌ヶ谷市総合基本計画前期基本計画策定時の現状値のこと

※2 10指標のうち3指標が新型コロナウイルス感染症による影響に伴い悪化したもの

(2) 成果指標に係る進捗状況

達成状況	評価基準	成果指標数	構成割合 (%)
① 達成	直近の実績値が令和8年度目標値を既に達成しているもの	17	25.0%
② 順調に推移している 又は基準値と同じ	直近の実績値が基準値を上回っている又は基準値と同じであり、令和8年度までの目標達成が見込まれるもの	31	45.6%
③ 基準値より悪化している	直近の実績値が基準値を下回っているもの	※20	29.4%
合 計		68	100%

※ 20指標のうち13指標が新型コロナウイルス感染症による影響に伴い悪化したもの

【状態指標及び成果指標とは】

状態指標	施策のねらいにどの程度近づいているかを示す指標 ※社会経済動向で指標の実績値が変化するため「目指す方向性」を示す
成果指標	施策のねらいを達成するため、施策の柱に定める指標 ※行政活動がもたらす成果

9 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標

(1) 状態指標 (3 指標)

状態指標名	単位	目指す 方向性	基準値		実績値		
			基準年	数値	2 年度	3 年度	4 年度
① 災害出動件数 (火災、救急、救助)	件	↓	令和元年度	6,022	5,561	5,904	7,047
② 市内 8 駅の 1 日当たりの乗降客数	人	↑	令和元年度	159,636	127,123	138,305	152,927
③ 製造業の事業所数 (経済産業省 工業統計調査)	事業所	↑	平成 30 年度	96	93	87	—

(2) 成果指標 (13 指標)

成果指標名	単位	目標値	基準値		実績値		
			基準年	数値	2 年度	3 年度	4 年度
① 乳児家庭全戸訪問事業訪問率	%	96	令和元年度	96	96	97.6	93.2
② つどいの広場利用人数	人	34,000	令和元年度	25,859	13,986	21,312	23,017
③ 児童センター利用人数	人	126,000	令和元年度	99,378	40,930	58,788	66,966
④ 子育てサポーター活動回数	回	800	令和元年度	740	0	214	458
⑤ こども 110 番の家の登録件数 (累計)	件	1,464	令和元年度	1,324	1,355	1,313	1,281
⑥ 総合防災訓練の参加者数	人	2,000	令和元年度	1,871	0	0	0
⑦ 救命講習開催回数	回	55	令和元年度	48	0	9	36
⑧ 活動訓練実施回数 (救急、救助)	回	930	令和元年	922	816	840	731
⑨ 交通安全教室の開催数	回	22	令和元年度	20	6	15	16
⑩ 新鎌ヶ谷駅の 1 日当たりの乗降客数	人	116,000	令和元年度	103,942	83,045	91,604	102,949
⑪ コミュニティバス利用者数	人	167,000	令和元年度	131,843	87,445	106,672	121,755
⑫ 無料職業紹介所の紹介による就職人数	人	130	令和元年度	62	55	49	52
⑬ 観光入込客数	人	410,000	令和元年	404,175	149,132	165,851	195,143

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化

施策の柱① 総合的な危機管理体制の強化

施策の柱② 事前防災、減災対策による地域防災体制の充実

施策の柱③ 災害応急活動、復旧対策の強化

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
自主防災組織の組織率	↑	51%	51%	49%
災害協定の締結数	↑	60件	64件	71件



<写真①>
避難場所案内標識設置等事業



<写真②> 防災対策に要する経費
(避難所運営委員会、自主防災組織合同訓練)

プロジェクト1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化	

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 総合的な危機管理体制の強化

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
業務継続計画（BCP）の確認及び見直し	2回	1回	2回	2回
防災体制強化研修の参加者数	400人	—	671人	662人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	危機管理に要する経費	担当課	安全対策課
概要	鎌ヶ谷市危機管理指針に基づき、国民保護計画及び当該計画に基づく個別マニュアルの整備等を進める。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
業務継続計画（BCP）、危機管理マニュアルの見直しを各課に依頼し、見直しを行った。		地域防災計画に定める業務継続計画（BCP）及び緊急事態対応計画に定める危機管理マニュアルの精査・検証を行い、適宜見直しをする。	
令和4年度決算額(千円)	0	令和5年度予算額(千円)	120

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化	

施策の柱② 事前防災、減災対策による地域防災体制の充実

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
自主防災組織への資器材交付完了団体数（累計）	85団体	79団体	81団体	82団体
避難行動要支援者避難支援制度協力自治会数（累計）	50自治会	18自治会	21自治会	21自治会

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	自主防災組織資器材整備に要する経費	担当課	安全対策課
概要	自主防災組織が防災活動を行うために必要な防災資器材を交付する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
1つの自主防災組織に資器材の交付を行ったことで、資器材交付完了団体数（累計）が増加した。		引き続き防災活動を行うために必要な防災資器材を未交付の自主防災組織に対し交付し、市全体の防災力を拡充していく。また、自主防災組織を継続して支援していくための交付制度を検討していく。	
令和4年度決算額(千円)	77	令和5年度予算額(千円)	538

事務事業名	避難場所案内標識設置等事業	担当課	安全対策課
概要	避難場所等を示す標識について、劣化が進んでいることから、更新工事を実施する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
既存標識の撤去を5箇所。新規の設置を5箇所行った。 ⇒P7 写真①参照		引き続き計画的に更新工事を行っていく。	
令和4年度決算額(千円)	4,046	令和5年度予算額(千円)	5,984

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化	

施策の柱③ 災害応急活動、復旧対策の強化

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
避難所運営委員会の組織数（累計）	21組織	12組織	12組織	12組織
総合防災訓練の参加者数	2,000人	0人	0人	0人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	防災対策に要する経費	担当課	安全対策課
概要	鎌ヶ谷市地域防災計画に基づき、ソフト・ハード両面において防災体制の強化のため計画的な整備を進めていく。		
令和4年度の実績		令和5年度の取組内容	
新たに南部小学校を利用した防災備蓄品の保管場所を整備した。また、避難場所案内標識改修工事を実施計画に位置付けて計画的に実施した。 ⇒P7 写真②参照		衛生用品などの物品についても更新計画を作成し計画的に更新できる体制を整え、防災備蓄品の効率的な保管場所や管理方法について検討する。また、災害時の飲料確保のための井戸付耐震性貯水槽も更新や修繕を検討するとともに、飲料確保のための新たな手段を検討する。	
令和4年度決算額(千円)	18,378	令和5年度予算額(千円)	25,746

プロジェクト 1 誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策② 消防・救急・救助体制の充実

施策の柱①	消防体制の充実
施策の柱②	火災予防の推進
施策の柱③	安心できる救急、救助体制づくり

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
出火率（人口1万人当たり）	↓	1.7件	1.2件	1.5件
災害出動件数（火災、救急、救助）	↓	5,561件	5,904件	7,047件



<写真③>
消防車両更新事業



<写真④>
消防団車両更新事業

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策② 消防・救急・救助体制の充実	

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 消防体制の充実

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
消防車両の更新台数（累計）	16台	—	2台	5台
予防技術資格者数	60人	40人	42人	44人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	職員研修に要する経費	担当課	消防総務課
概要	消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得させるため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
消防職員16人を研修派遣し、知識と技術の向上を図った。		消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。	
令和4年度決算額(千円)	3,932	令和5年度予算額(千円)	4,261

事務事業名	消防車両更新事業	担当課	消防総務課
概要	消防活動を維持するために必要な、消防用自動車及び車両積載品を更新整備する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
救急自動車1台の更新及び梯子車のオーバーホールを実施し、消防体制の充実を図った。 ⇒P11 写真③参照		本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。	
令和4年度決算額(千円)	73,958	令和5年度予算額(千円)	52,286

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策② 消防・救急・救助体制の充実

事務事業名	消防団車両更新事業		担当課	消防総務課
概要	消防活動を維持するために必要な、非常備用消防自動車及び車両積載品を更新整備する。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
消防ポンプ自動車 1 を更新し、消防体制の充実を図った。 ⇒P11 写真④参照		本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。		
令和4年度決算額(千円)	19,841	令和5年度予算額(千円)	21,093	

事務事業名	中央消防署等改修事業		担当課	消防総務課
概要	中央消防署の感染症防止対策の強化及び機能拡充を図るため、トイレ改修・仮眠室の個室化などの内装改修工事を行うとともに、資機材備蓄倉庫の整備等を行う。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
中央消防署改修工事の実施設計が完了した。また、くぬぎ山消防署の井戸さく泉及び給水設備工事を実施し、災害拠点としての機能向上を図った。		実施設計に基づき資機材備蓄倉庫を整備する。		
令和4年度決算額(千円)	13,086	令和5年度予算額(千円)	122,500	

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策② 消防・救急・救助体制の充実

事務事業名	消火栓改修事業		担当課	警防課
概要	令和3年度から令和8年度までの鎌ヶ谷市基本計画に基づき、計6基の消火栓を毎年度1基ずつ改修する。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
優先度の高い腐食消火栓 1 基の改修を行った。		令和5年度は、優先度の高い消火栓1基の改修を行う。		
令和4年度決算額(千円)	1,805	令和5年度予算額(千円)	4,000	

事務事業名	消防団装備品整備事業		担当課	警防課
概要	消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
消防団員の雨衣 1 0 7 着を防水性、透湿性に優れたものに更新したことで、活動における身体への負担軽減につながった。		消防団員の外とうについて、防寒、伸縮性、視認性に優れた外とうへの更新を行う。		
令和4年度決算額(千円)	1,718	令和5年度予算額(千円)	2,459	

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策② 消防・救急・救助体制の充実	

施策の柱② 火災予防の推進

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
住宅用火災警報器の設置率	73.8%	72.8%	73.1%	73.3%
立入検査実施件数	400件	7件	197件	413件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	予防業務に要する経費	担当課	予防課
概要	火災予防を推進するため、消防訓練時の指導や住宅用火災警報器の設置普及及び維持管理を啓発するとともに、建築確認時の消防設備の設置指導や対象物の立入検査を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
火災予防を推進するため、広報や市ホームページ等を活用し、住宅用火災警報器の設置普及及び維持管理を啓発するとともに、建築確認時に適正な消防設備の設置指導を行ったことにより、住宅用火災警報器の設置率が上昇した。		住宅用火災警報器の設置率は年々上昇しているが、設置後10年を経過している機器が多くなっていることから、設置済み機器の点検・交換等の維持管理の啓発を、引き続き実施する必要がある。	
令和4年度決算額(千円)	3,931	令和5年度予算額(千円)	3,189

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策② 消防・救急・救助体制の充実	

施策の柱③ 安心できる救急、救助体制づくり

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
救命講習開催回数	55回	0回	9回	36回
活動訓練実施回数（救急、救助）	930回	816回	840回	731回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	警防業務に要する経費	担当課	警防課
概要	救急車到着までの間、現場に居合わせた人により適切な応急手当が実施できるよう、市民及び各種団体を対象に救命講習を実施する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
救命講習の開催案内をホームページや市広報誌等で地域住民に呼びかけ、普通救命講習を34回、上級救命講習を2回、合計36回実施し、287名が参加した。		新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意し、安心して受講できる環境を整える。また、ガイドラインの改訂に伴い、教育教材を更新し救命講習を実施する。	
令和4年度決算額(千円)	21,340	令和5年度予算額(千円)	17,879

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策③ 良好な居住環境の確保

- 施策の柱① 良好な居住環境の確保
- 施策の柱② 安全で安心な住宅の整備
- 施策の柱③ 住みよい公営住宅の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
住宅の耐震化率	↑	—	—	79.8%
市内の空家率	↓	2.3%	2.3%	2.3%



<写真⑤> 市営住宅の管理運営に要する経費
(市営住宅インターホン交換修繕)



<写真⑥> 市営住宅長寿命化事業
(長谷津市営住宅 E 棟屋上防水・外壁改修工事)

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策③ 良好な居住環境の確保	

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 良好な居住環境の確保

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
木造住宅等の検査済証の交付率	100%	87%	98%	88%
宅地、建物のパトロール件数	170件	100件	113件	126件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	建築指導に要する経費	担当課	建築住宅課
概要	建築基準法、建設リサイクル法、建築物省エネルギー法、低炭素法等に基づく各種申請の審査、検査、指導、相談及び建築物全般に関する相談。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
計画的な宅地、建物のパトロールを実施し、検査済証交付率は前年度比88%、パトロール件数は前年度比112%となった。		令和4年度は検査済証交付率は前年度を下回ったが、パトロール件数は上回った。引き続き、宅地・建物のパトロール等を計画的に実施し、違反建築物等の防止の促進を図る。	
令和4年度決算額(千円)	1,143	令和5年度予算額(千円)	9,084

事務事業名	建築データベースシステム整備事業	担当課	建築住宅課
概要	建築確認証明書等の発行業務の迅速化を図るため、地図情報、建築確認履歴、道路の種別などの情報をシステム化するもの。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
建築データベースシステムの運用を開始し、迅速かつ正確な窓口業務を行うことができた。		引き続きシステムの運用方法を精査、検証するとともに、搭載されているデータの更新等の運用方法を確立させる。	
令和4年度決算額(千円)	8,108	令和5年度予算額(千円)	0

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策③ 良好な居住環境の確保	

施策の柱② 安全で安心な住宅の整備

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
住宅耐震改修促進事業補助件数	15件	10件	9件	11件
空家等の解消件数（累計）	445件	268件	322件	356件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	住宅耐震改修促進事業	担当課	建築住宅課
概要	旧耐震基準による木造住宅の耐震診断・改修工事費の一部補助や無料耐震相談会、危険コンクリートブロック塀除却補助を行うもの。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
耐震補助申請は前年度を上回ったが、危険コンクリートブロック塀補助は前年度を下回り、全体としては前年度比122%となった。		相談会の簡易耐震診断で耐震基準を下回った所有者に対し、耐震補助の申請を促す。また、通学路沿いなどのブロック塀の点検を計画的に行い、危険なブロック塀等の所有者に対して補助制度の利用を周知することで、木造住宅の耐震化及び危険コンクリートブロック塀の除却の推進を図る。	
令和4年度決算額(千円)	3,234	令和5年度予算額(千円)	4,680

事務事業名	空家等対策事業	担当課	建築住宅課
概要	空家等対策計画に基づきこれまでの空家等対策に加え、空家等の適正な管理の推進とあわせて空家等の有効活用といった視点も含め、総合的、計画的な空家等対策を実施する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
空家等実態調査を実施した。 家庭裁判所に対して相続財産管理人選任の申し立てを1件実施した。		空家等実態調査結果を取り纏め、空家等対策計画の見直しを行う。 また、空家等除却補助事業及び相続財産精算人選任の申し立て（1件）を行う。	
令和4年度決算額(千円)	6,724	令和5年度予算額(千円)	5,346

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策③ 良好な居住環境の確保

事務事業名	宅地耐震化推進事業		担当課	都市計画課
概要	大規模盛土造成地の滑動崩落に対する安全性の調査を行うもので、国の「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン」に基づき、第二次スクリーニング計画を策定するもの。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
国交付金を活用して、宅地耐震化推進事業における第二次スクリーニング計画を策定した。		令和4年度に策定した「第二次スクリーニング計画」に基づき、詳細調査等の事業を実施するための庁内協議及び国交付金活用のため千葉県など関係機関との調整を行う。		
令和4年度決算額(千円)	5,902	令和5年度予算額(千円)	0	

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策③ 良好な居住環境の確保	

施策の柱③ 住みよい公営住宅の充実

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
市内公営住宅の供給戸数	401戸	382戸	382戸	411戸
外壁、屋上防水等改修率（市内公営住宅）	50.0%	10.0%	10.0%	20.0%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	市営住宅の管理運営に要する経費	担当課	建築住宅課
概要	市営住宅の施設等の適切な維持管理及び適切な入居者管理を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
全市営住宅においてカメラ付きインターホンに交換した。 長谷津市営住宅の火災による損傷の修復した。 初富市営住宅の排水改修（浄化槽から公共下水道に切替）を実施した。 ⇒P17 写真⑤参照		家賃納入について管理システムを利用した口座振替への誘導を頻繁に行うとともに、滞納者については職員が直接きめ細やかな対応をする等徴収率のさらなる向上を目指す。	
令和4年度決算額(千円)	59,973	令和5年度予算額(千円)	20,192

事務事業名	市営住宅長寿命化事業	担当課	建築住宅課
概要	対症療法型の維持管理から予防保全型の維持管理へ転換することによって、対象施設の耐久性の向上、躯体の経年劣化の軽減等を行うことで長寿命化を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
市営住宅の長寿命化を図るため、長谷津E棟屋上防水・外壁改修工事を完了した。 ⇒P17 写真⑥参照		令和5年度は栗野市営住宅1号棟屋上防水・外壁改修等工事設計委託及び栗野市営住宅集会所屋根・外壁改修工事を実施する。	
令和4年度決算額(千円)	75,879	令和5年度予算額(千円)	24,046

プロジェクト1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策④ 治水対策の推進

施策の柱① 安心して暮らせる治水対策

施策の柱② きれいでうるおいのある水辺環境の保全

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
浸水面積	↓	122.1ha	122.1ha	122.1ha
床上、床下浸水件数	↓	0件	2件	0件



<写真⑦>
準用河川整備事業（二和川バイパス）



<写真⑧>
地域排水整備事業（浸透枮）

プロジェクト1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策④ 治水対策の推進	

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 安心して暮らせる治水対策

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
準用河川二和川バイパス整備率	100%	59%	71.9%	83.5%
雨水貯留池の容量	48,720m ³	43,520m ³	43,520m ³	43,520m ³

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	準用河川整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市内の準用河川の流下能力向上目的に、1時間当たり50mmの降雨に対応した改修を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
準用河川二和川バイパス整備（第8期）工事を実施した。 準用河川二和川拡幅整備の用地を取得した。 準用河川二和川バイパス整備に伴う家屋補償を実施した。 準用河川二和川護岸改修に伴う家屋補償を実施した。 ⇒P22 写真⑦参照		浸水被害改善に向け国交付金の確保に努め、浸水被害の軽減に効果的な整備及び用地取得等を進める。	
令和4年度決算額(千円)	277,410	令和5年度予算額(千円)	80,238

プロジェクト1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策④ 治水対策の推進

事務事業名	河川・水路整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市の雨水流末に位置する河川、水路改修事業について、事業主体市に流域面積に応じた負担金を支出する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
紙敷川改修事業（松戸市事業主体）の整備工事が完成した。 金山落支水路改修事業（柏市事業主体）整備工事を実施した。		事業主体市と協議し1時間当たり50mmの降雨に対応した整備を行う。	
令和4年度決算額(千円)	17,794	令和5年度予算額(千円)	3,480

事務事業名	地域排水整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市内の道路冠水を解消するための地域排水施設の能力不足や未整備箇所について、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
東道野辺5丁目地域排水整備の実施設計を実施した。 東道野辺5丁目地域排水整備の家屋事前調査を実施した。 浸透柵モニター事業を実施した。 ⇒P22 写真⑧参照		浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある個所の選定を行う。	
令和4年度決算額(千円)	12,542	令和5年度予算額(千円)	72,044

事務事業名	雨水貯留池整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	大雨時における流出抑制のための貯留池整備を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
串崎新田貯留池整備の実施設計委託を実施した。		串崎新田貯留池の整備に必要な用地取得及び工事を行う。	
令和4年度決算額(千円)	11,220	令和5年度予算額(千円)	53,536

プロジェクト1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策④ 治水対策の推進	

施策の柱② きれいでうるおいのある水辺環境の保全

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
雨水浸透柵モニター設置数（累計）	281基	191基	206基	220基
河川、水路除草面積	65,500㎡	103,548㎡	111,516㎡	116,489㎡

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	流域環境整備事業	担当課	道路河川管理課
概要	河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草、清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
○河川管理委託 ○河川・水路清掃委託 ○スクリーン清掃委託 ○河川・水路維持工事		鎌ヶ谷市の河川等施設に応じた効率的な点検方法の検討。	
令和4年度決算額(千円)	42,882	令和5年度予算額(千円)	38,394

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

施策の柱① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

施策の柱② きめ細かな支援が必要な子ども、子育て家庭への支援

施策の柱③ 地域全体で子育てを支えるための環境整備

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
合計特殊出生率	↑	1.23	1.19	—
子育て支援事業の満足度	↑	73.1%	73.0%	86.4%



<写真⑨>
つどいの広場の運営に要する経費



<写真⑩>
児童遊園改修事業

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
乳児家庭全戸訪問事業 訪問率	96%	96%	97.6%	93.2%
つどいの広場利用人数	34,000人	13,986人	21,312人	23,017人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	児童総務事務に要する経費	担当課	こども支援課
概要	子ども・子育て会議において、子ども子育て支援事業計画の進捗状況や子ども・子育て施策等を審議する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況や新たな認定こども園の定員等について、子ども・子育て会議で調査、点検、審議などを行い、計画の推進を図った。 また、令和4年度は、計画の中間年にあたることから、計画値の見直しを検討したが、実績値との乖離がなかったことから、見直しは行わなかった。		令和5年度は、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針を決定し、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に伴うニーズ調査の実施を予定している。	
令和4年度決算額(千円)	90,895	令和5年度予算額(千円)	13,134

事務事業名	つどいの広場の運営に要する経費	担当課	こども支援課
概要	つどいの広場を開設しおおむね3歳未満の乳幼児とその保護者が気軽につどい相互交流する場を提供する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
令和4年度の市内児童センターで実施しているつどいの広場の利用者については、下記のとおりであった。 0歳児 5,943人 1歳児 3,209人 2歳児 2,193人 3歳児 720人 合計 23,019人 ⇒P26 写真⑨参照		アドバイザーの資質の向上及び相談事業の充実を図るためアドバイザーを対象に研修を実施する。また利用者のニーズに沿った事業展開を実施するためアンケート調査を行う。	
令和4年度決算額(千円)	10,049	令和5年度予算額(千円)	13,112

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

事務事業名	母子保健に要する経費	担当課	健康増進課
概要	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を提供するため、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
<p>「妊娠期の支援」</p> <p>母子健康手帳の交付及び妊婦面接、新人ママ・パパへの保健指導及び相談</p> <p>「出産後の支援」</p> <p>産後ケア事業（宿泊型）、こんにちは赤ちゃん訪問事業（乳児家庭全戸訪問）、ブックスタート事業（4か月児健康相談時）、離乳食教室</p> <p>「母子の健康確保」</p> <p>妊婦健康診査費用の助成（14回）、新生児聴覚検査、乳幼児の健康診査</p>		<p>母子手帳アプリを導入し、「かまがや子育てアプリ」と統合する。また、伴走型相談支援事業として、妊娠7か月アンケートによる全数把握、新生児訪問の全数実施をし、産後ケア事業（通所型）を導入する。</p> <p>乳幼児の健康診査後の発達相談の日を増やす等、支援の充実を行い、母子の孤立予防、育児不安の軽減につなげる。</p> <p>産後の育児不安の軽減や産婦の休息を目的に、産後ケア事業（通所型）を開始すると共に、自宅への訪問型についても検討を開始する。</p> <p>母子の孤立予防及び育児不安の軽減を目的に、乳幼児健康相談健康診査後の発達相談日を増やす等、相談支援の充実を図る。</p>	
令和4年度決算額(千円)	81,788	令和5年度予算額(千円)	93,285

事務事業名	結婚新生活支援事業	担当課	企画財政課
概要	新婚世帯の新生活に係る住宅費及び引越費用の一部に対し、予算の範囲内において鎌ヶ谷市結婚新生活支援事業補助金を交付するもの。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
<p>本事業の申請者を対象としたアンケートでは、本事業の認知度（婚姻届出の前に本事業を認知していた割合）は56%、地域に応援されていると感じた世帯の割合は81%だった。</p>		<p>鎌ヶ谷市への転入者を対象とした事業であるため、申請者がよりプラスな気持ちで鎌ヶ谷市に転入できるよう、懇切丁寧な対応を心がける。</p> <p>申請者とのやり取りが多いため、可能な範囲で電話番号以外の連絡方法（email）を取得する。</p>	
令和4年度決算額(千円)	7,958	令和5年度予算額(千円)	18,600

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

施策の柱② きめ細かな支援が必要な子ども、子育て家庭への支援

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
児童虐待防止(子育て関係) 講座等の開催回数	38回	7回	15回	28回
ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金受給者数	12人	6人	7人	11人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	家庭児童相談に要する経費	担当課	こども支援課
概要	子どもや家庭に関する相談。児童虐待予防、早期発見対応。支援対象児童への対応。鎌ヶ谷市虐待防止対策等地域協議会の運営を行う。		
	令和4年度の実績	令和5年度の実績	
	相談しやすい環境とするため、家庭児童相談員等の職員体制について検討した。また鎌ヶ谷市子ども虐待予防・対応マニュアルの周知を実施した。	前年度まで家庭児童相談員としてパートタイム会計年度任用職員2名雇用していたが、今年度よりフルタイム会計年度任用職員にし、体制強化を実施する。 家庭児童相談システムが令和6年10月末で長期契約が満了となり、更新が必要となる。	
	令和4年度決算額(千円)	17,299	令和5年度予算額(千円) 13,794

事務事業名	母子等福祉に要する経費	担当課	こども支援課
概要	ひとり親家庭等の父母等及び児童に対し、医療費及び調剤費の一部を助成するもの。		
	令和4年度の実績	令和5年度の実績	
	経済的な支援及び自立支援を行うことにより、ひとり親家庭等の福祉の増進につながった。	引き続き、適正な助成事務を遂行するため、制度案内チラシの見直しを行い、市民へ制度の周知を図る。	
	令和4年度決算額(千円)	66,693	令和5年度予算額(千円) 85,033

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

施策の柱③ 地域全体で子育てを支えるための環境整備

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
児童センター利用人数	126,000人	40,930人	58,788人	66,966人
子育てサポーター活動回数	800回	0回	214回	458回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	児童遊園等の管理に要する経費		担当課	こども支援課
概要	市内16箇所の児童遊園について、適切な管理を行い児童に健全な遊びを与える。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
<p>専門業者による一斉点検により、緊急に改修が必要となった遊具については、改修を実施した。 また、職員による定期的な点検も引き続き実施した。</p>		<p>専門業者による遊具の一斉点検の結果に基づき、改修が必要と判定された遊具について、計画的に改修を実施する。 また、草刈り等を依頼している自治会から、高齢化により草刈りができないとの意見が寄せられていることから、ダスト舗装の工事など検討していく。</p>		
令和4年度決算額(千円)	6,046	令和5年度予算額(千円)	5,988	

事務事業名	児童センターの管理運営に要する経費		担当課	こども支援課
概要	児童への健全な遊びを通してその体力を増進し、情操を豊かにする。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
<p>令和4年度の市内児童センターの利用者については、下記のとおりであった。</p> <p>就学前児童 25,942人 小学生 14,794人 中学生 1,865人 その他(保護者) 24,365人 総利用者数 66,966人</p>		<p>子どもたちにとって心地よい居場所になるよう家庭・学校・地域と連携をとりながら子どもの育成に適した遊びを提供する。 また、コロナの影響により減少していた子育てサポーターの活動回数については、目標値に届くよう回数を増加する。</p>		
令和4年度決算額(千円)	42,777	令和5年度予算額(千円)	52,557	

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

事務事業名	児童遊園改修事業		担当課	こども支援課
概要	児童遊園の安全で安心な環境を確保するために、老朽化した遊具・設備の更新など改修を行う。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
市内16カ所の児童遊園の遊具等の一斉点検を実施するとともに、アカシア児童遊園の遊具等の改修を実施した。 ⇒P26 写真⑩参照		令和5年度は、児童遊園の改修工事の予定はないが、児童遊園の利用状況や老朽化の状況により、優先順位をつけるなど改修計画を策定する。		
令和4年度決算額(千円)	14,936	令和5年度予算額(千円)	0	

事務事業名	(仮称) 東部地区児童センター設置事業		担当課	こども支援課
概要	児童センターが未整備となっている東部地区に、(仮称) 東部地区児童センターを整備する。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
令和4年12月に建設工事に係る契約を締結するとともに、工事を開始した。 また、児童センターの運営に必要な備品や消耗品等について、予算要求を行った。		建築工事を計画的に進めるとともに、児童センターの運営に必要な人員を確保の他、備品や消耗品を購入する。		
令和4年度決算額(千円)	57,368	令和5年度予算額(千円)	453,277	

プロジェクト2 未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策② 保育サービスの充実

- 施策の柱① 幼稚園、保育園の充実
- 施策の柱② 放課後児童クラブの充実
- 施策の柱③ 多様な家庭に対応した保育サービスの充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
待機児童数（保育園、放課後児童クラブ）	→	0人	0人	0人
合計特殊出生率	↑	1.23	1.19	—



<写真⑪>
民間保育所等の補助に要する経費



<写真⑫>
ファミリー・サポート・センターの運営に要する経費

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策② 保育サービスの充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 幼稚園、保育園の充実

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
子育て支援員研修の受講率	50%	16.3%	24.7%	26.4%
保育所定員数	1,635人	1,545人	1,545人	1,635人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	民間保育所等の補助に要する経費	担当課	幼児保育課
概要	民間保育所等の運営に対して補助を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
<p>民間保育施設の経営安定化を図るため、民間保育施設9施設、小規模保育事業10施設に、運営に必要な経費を対象に、補助金を交付した。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染対策用品、光熱水費及び食材費等の物価高騰対策、保育士等処遇改善などを対象とした補助制度を追加実施した。</p> <p>⇒P32 写真⑪参照</p>		<p>継続的に補助金を交付するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、緊急的に食材費及び光熱水費の物価高騰に対応した補助を実施する。</p>	
令和4年度決算額(千円)	356,803	令和5年度予算額(千円)	430,404

事務事業名	私立幼稚園等に要する経費	担当課	幼児保育課
概要	幼児教育・保育の無償化に伴い、施設等利用給付認定を受けた子どもに対して必要な助成を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
<p>私立幼稚園の教育の振興及び幼児教育・保育の無償化を実現するため、私立幼稚園8施設に、研修費用等に対する補助金や施設等利用費を支給した。また、開設時間を延長して預かり保育を実施している6施設に補助金を交付することで、待機児童対策の解消を図った。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染対策用品、光熱水費及び食材費等の物価高騰対策などを対象とした補助制度を追加実施した。</p>		<p>継続的に補助金を交付するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、緊急的に食材費及び光熱水費の物価高騰に対応した補助を実施する。</p>	
令和4年度決算額(千円)	467,917	令和5年度予算額(千円)	491,331

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策② 保育サービスの充実

施策の柱② 放課後児童クラブの充実

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
放課後児童クラブが楽しいと思う児童の割合	80%	60.2%	52.4%	67.9%
放課後児童クラブの定員数	827人	825人	827人	827人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	放課後児童クラブの管理運営に要する経費	担当課	こども支援課
概要	小学校で放課後児童クラブを管理運営し、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校就学児童に、授業の終了後に適切な遊びと生活の場を与えて、その健全な育成を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
毎月、放課後児童クラブの運営状況を確認し、必要に応じて改善を指示するとともに、各クラブからの要望事項などをメールで確認した。 また、令和4年度は3回、運営事業者及び主任支援員と運営方法等についての会議を開催した		運営委託となっている放課後児童クラブについて、定期的にクラブの運営状況を確認するとともに、年に数回、全クラブの主任支援員を集め、運営方法について協議を行う。	
令和4年度決算額(千円)	240,689	令和5年度予算額(千円)	270,533

事務事業名	放課後児童クラブ整備・改修事業	担当課	こども支援課
概要	「放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき、放課後児童クラブの施設整備・改修を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
令和5年度に東部小学校放課後児童クラブを2クラブ体制にするるとともに、施設環境を整備するため、改修工事の実施に向けた設計委託を実施した。		令和5年度に東部小学校放課後児童クラブの改修工事の実施を予定しており、残りのクラブの改修工事を計画的に実施していく。	
令和4年度決算額(千円)	2,684	令和5年度予算額(千円)	15,820

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策② 保育サービスの充実

施策の柱③ 多様な家庭に対応した保育サービスの充実

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
一時預かり事業の受入可能人数	15,840人	10,560人	10,560人	10,560人
ファミリー・サポート・センター提供会員数	195人	171人	164人	164人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	ファミリー・サポート・センターの運営に要する経費	担当課	こども支援課
概要	様々な事情で一時的に子どもの世話ができない場合等、地域の住民同士で相互援助の形式で支え合いを行い、子育て支援を実施する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
ひとり親世帯利用料助成金の対象者拡大を実施し、さらに令和5年4月からファミリー・サポート・センター事業の利用可能年齢の引き下げができるように要綱改正を実施した。 ⇒P32 写真⑫参照		依頼会員は増えているが、提供会員数は横ばいとなっていることから、今年度、提供会員募集のポスターを作成し、広く周知を行う。また利用件数が減少していることから、制度の周知を行う。	
令和4年度決算額(千円)	3,812	令和5年度予算額(千円)	4,361

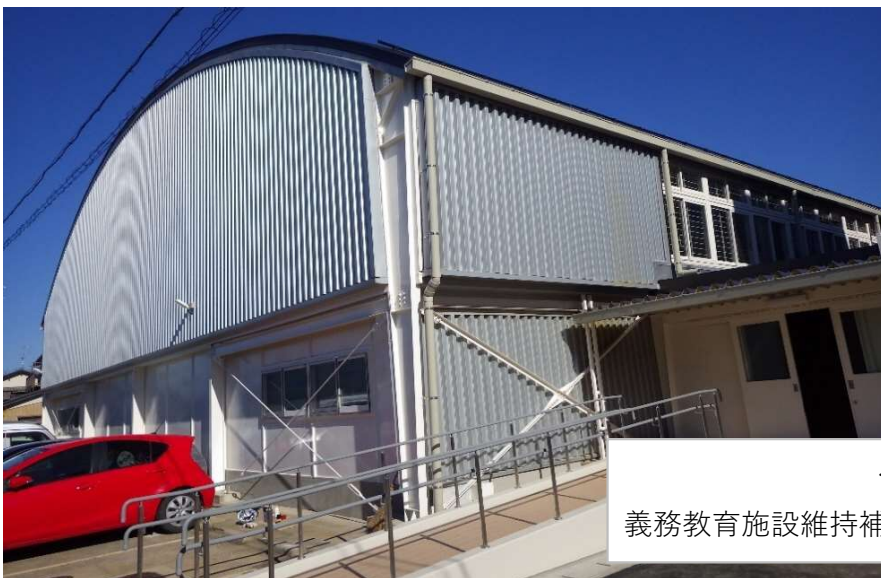
プロジェクト2 未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策③ 学校教育の充実

- 施策の柱① 安全で安心な教育環境の確保
- 施策の柱② 生きる力をはぐくむ特色ある学校づくり
- 施策の柱③ 専門性と社会性を備えた教職員の育成

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
教職員、保護者等からの学校施設満足度の割合	↑	—	71.3%	72.3%
授業の中で課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童生徒の割合	↑	—	80.5%	85.1%



<写真⑬>
義務教育施設維持補修事業（南部小学校体育館）



<写真⑭>
小中学校 ICT 環境整備事業

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策③ 学校教育の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 安全で安心な教育環境の確保

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
外壁、屋上防水等改修率	35.5%	32.3%	30.6%	32.3%
小中学校トイレの整備進捗率	94.6%	67.9%	87.5%	100%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	小学校の管理運営に要する経費	担当課	教育総務課
概要	良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
小学校9校において、老朽化が進む学校施設や備品等について、修繕や購入等の対応を行った。		学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。	
令和4年度決算額(千円)	345,542	令和5年度予算額(千円)	331,599

事務事業名	義務教育施設維持補修事業	担当課	教育総務課
概要	老朽化した施設、設備等について、計画的に施設改修を行い、学習環境の向上を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
予定した事業を全て計画通りに完了し、学習環境の向上を図った。 ⇒P36 写真⑬参照		東部小校舎外壁・屋上防水改修、鎌小・東部小・南部小のLED照明改修等を行う。 鎌中のLED照明改修、鎌中境界フェンス等設置を行う。	
令和4年度決算額(千円)	836,176	令和5年度予算額(千円)	722,177

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策③ 学校教育の充実

事務事業名	義務教育施設楽器更新事業		担当課	教育総務課
概要	小中学校において、購入から年数が経過し、老朽化が進んでいる楽器の更新を行う。また、リース方式により更新したグランドピアノの賃借料の支払いを行う。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
<p>中学校5校において、楽器の更新を行うとともに、全小中学校のグランドピアノについて、賃借料の支払いを行った。また、鎌ヶ谷小学校音楽室のグランドピアノ（1台）を更新した。</p>		<p>令和5年度は、小学校9校の楽器更新を行うとともに、令和元年度にリース方式により更新した全小中学校のグランドピアノ及び令和4年度に更新した鎌ヶ谷小学校音楽室のグランドピアノ（1台）について、賃借料の支払いを行う。</p>		
令和4年度決算額(千円)	10,786	令和5年度予算額(千円)	11,252	

事務事業名	中学校の管理運営に要する経費		担当課	教育総務課
概要	良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
<p>中学校5校において、老朽化が進む学校施設や備品等について、修繕や購入等の対応を行った。</p>		<p>学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。</p>		
令和4年度決算額(千円)	170,113	令和5年度予算額(千円)	175,760	

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策③ 学校教育の充実

施策の柱② 生きる力をはぐくむ特色ある学校づくり

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
ICT教育機器の1日の授業における使用割合	50%	—	41.7%	79.9%
学校図書館図書標準の達成校	14校	13校	14校	14校

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	小学校の図書に要する経費		担当課	教育総務課
概要	計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
図書の購入を計画どおり進め、学習環境の向上を図った。		学校図書館の有効活用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校における図書館図書標準100%を継続していく。		
令和4年度決算額(千円)	9,522	令和5年度予算額(千円)	9,557	

事務事業名	中学校の図書に要する経費		担当課	教育総務課
概要	計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
図書の購入を計画どおり進め、学習環境の向上を図った。		学校図書館の有効活用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全中学校における図書館図書標準100%を継続していく。		
令和4年度決算額(千円)	6,973	令和5年度予算額(千円)	6,975	

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策③ 学校教育の充実

事務事業名	教育指導に要する経費	担当課	学校教育課
概要	鎌ヶ谷市学力調査、学校図書館司書の全校配置、小学校の理科支援員の配置、日本語指導講師の派遣、デジタル教科書の継続使用、いじめ対策、中学生平和教育派遣事業、自主公開助成金や研究指定助成金等を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
<p>学力調査の結果分析で経年変化を追うことができ、昨年度同様授業改善に生かすことができた。理科支援員の配置が令和4年度は不足していたが、理科教育の充実に理科支援員が活躍した。学校図書館司書の全校配置により、授業が充実した。</p>		<p>学力調査の結果分析は継続して行い、教員の授業改善に生かす。 理科専科教員のいない小学校に理科支援員を4名配置し、理科学習の充実を図る。 図書館司書の全校配置を継続して行い、図書指導の充実を図る。 長崎への中学生平和教育派遣事業を実施する。 など。</p>	
令和4年度決算額(千円)	49,623	令和5年度予算額(千円)	83,997

事務事業名	小中学校 ICT 環境整備事業	担当課	学校教育課
概要	GIGAスクール構想に対応した高速大容量通信ネットワークの環境維持および、児童生徒1人1台の学習用コンピュータの維持管理を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
<p>年間を通してICT活用推進委員会で各学校の事例を学校間で紹介し、活用方法について共有できた。また、教育委員会学校教育課の指導訪問の際に活用方法について話し合い、活用の幅を広げることができた。</p> <p>⇒P36 写真⑭参照</p>		<p>校内での活用については、ICT活用推進委員会において各学校の実践事例を持ち寄り、情報共有する。回線接続状況の改善に関しては、実証実験の結果により次年度以降について検討する。</p>	
令和4年度決算額(千円)	94,466	令和5年度予算額(千円)	97,533

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策③ 学校教育の充実

施策の柱③ 専門性と社会性を備えた教職員の育成

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
自主公開取組み校	12校	5校	4校	5校
児童生徒と向き合う時間を確保できている教職員の割合	95%	65.2%	71.4%	81.6%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	教職員の研修に要する経費	担当課	学校教育課
概要	市内小中学校の教職員の資質・能力向上と専門性の確立を図るため、研修・研究の支援を行う。		
	令和4年度の実績	令和5年度の実績	
	自主公開取組み校は5校だったが、積極的に公開しようとする学校が増加した。	教育委員会主催で講師を招聘して実施する研修を増やす。教員の若年齢化が進み時間をかけて学校から遠方の研修場所へ行くのではなく、参加しやすい研修設定をしていく。	
	令和4年度決算額(千円)	300	令和5年度予算額(千円) 547

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

施策の柱① 保健、安全教育の充実

施策の柱② 児童生徒の安全確保

施策の柱③ 学校給食の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
標準体重の児童生徒の割合	↑	86.9%	89.4%	87.1%
児童生徒の交通事故の発生件数	↓	14件	9件	16件



<写真⑮>

学校保健事務に要する経費（フッ化物洗口）



<写真⑯>

児童生徒安全パトロール事業

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 保健、安全教育の充実

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
児童生徒の定期健康診断受診率	95.5%	95.3%	94.7%	94.8%
児童生徒の定期健康診断受診勧告後の医療機関受診率	60%	54.4%	53.5%	53.4%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	学校保健事務に要する経費	担当課	学校教育課
概要	児童生徒等の心身の発達と健康を保持するため、環境衛生検査、健康診断、感染症予防等を行います。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
就学時健康診断及び定期健康診断を実施し、児童・生徒等の疾病の早期発見と健康管理を行い、結果に基づく受診勧奨を行った。環境衛生検査を行い、改善が必要な項目について把握し、必要な対策を講じた。 ⇒P43 写真⑮参照		児童生徒等の定期健康診断について、現行の精度を保ち、且つ新型コロナウイルス感染症対策に配慮して実施します。	
令和4年度決算額(千円)	35,681	令和5年度予算額(千円)	37,773

事務事業名	学校安全事務に要する経費	担当課	学校教育課
概要	学校管理下における児童生徒等のケガ等に対する日本スポーツ振興センターの災害共済や、全国市長会との契約による補償等に要する経費を負担します。また、小学校新1年生に交通安全用として黄色い帽子を配付します。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
児童・生徒が学校管理下で発生した災害により負傷や疾病を受けた場合に、その治療（保険治療）に要した医療費や見舞金を支給し、保護者の費用負担軽減を図った。		各学校の養護教諭と連携し、事務手続きを正確に行います。	
令和4年度決算額(千円)	10,169	令和5年度予算額(千円)	11,406

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

施策の柱② 児童生徒の安全確保

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
子ども自転車安全運転講習会、スケアード・ストレイト自転車交通安全教室の実施回数	11回	2回	13回	17回
こども110番の家の登録件数（累計）	1,464件	1,355件	1,313件	1,281件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	通学路安全対策事業		担当課	学校教育課
概要	第4次通学路安全対策推進行動計画の進行管理、児童生徒の安全指導等の対策を行う。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
要望や緊急一斉点検で必要とされた環境整備を実施した。スケアード・ストレイト自転車交通安全教室は市内全中学校で実施した。		通学路合同点検を実施する。自転車講習会などの安全指導を継続して実施する。		
令和4年度決算額(千円)	29,453	令和5年度予算額(千円)	7,407	

事務事業名	児童生徒安全パトロール事業		担当課	学校教育課
概要	市内の指定通学路や公園などの場面を想定した、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
市内全域を車両2班・徒歩4班、1班2人体制で実施した。学校の長期休業や下校が早まった時には児童・生徒が集まりそうな公園も重点的に巡回した。 ⇒P43 写真⑩参照		学校、地域、青少年センター、警察と引き続き情報共有し、通学路を中心にパトロールを実施していく。		
令和4年度決算額(千円)	13,877	令和5年度予算額(千円)	14,901	

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

事務事業名	非行防止対策の推進に要する経費		担当課	青少年センター
概要	子ども達の非行防止を図り、また安全確保を図る観点から補導活動等を実施し、青少年の非行防止及び健全育成を推進する。			
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容		
市内の小中学校の依頼に対して、不審者情報等を配信する「こども安全メール」の登録者が地域の見守り活動の重要性の啓発を行ったことで前年度より185件増加した。		子供達の安全安心のため、関係機関と連携を深め、街頭パトロールの強化とともに、「子ども110番の家」は、一般家庭の担い手不足が深刻なことから、事業所や商業施設へ依頼し推進を図る。また、子ども達やその保護者からの相談についても重点的に取り組む。		
令和4年度決算額(千円)	11,034	令和5年度予算額(千円)	12,678	

事務事業名	通学路整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	児童や生徒が安全に通学できるよう歩道を整備し通学路の安全性向上を図る。			
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容		
市道1号線通学路整備に必要な用地を取得した。 市道49号線通学路整備に必要な用地を取得した。		歩道整備に向けて用地取得に取り組んでいるが、取得地の関係者の状況を見極め推進していく必要がある。		
令和4年度決算額(千円)	34,468	令和5年度予算額(千円)	40,258	

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

施策の柱③ 学校給食の充実

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
鎌ヶ谷産野菜、果実使用献立数	22回	15回	20回	20回
食育指導の実施回数	34回	18回	12回	32回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	学校給食運営に要する経費	担当課	学校教育課
概要	安全で魅力ある学校給食を提供し、子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに食への関心を高める。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
<p>児童生徒7,890人(令和4年5月1日現在)に対し、年間184日学校給食を実施した。 給食だよりを11回配付した。 給食センター見学の受け入れ(887人)を実施した。</p>		<p>地産地消食材の積極的活用および学校との食育連携、食物アレルギー除去食の安全な提供を実施する。</p>	
令和4年度決算額(千円)	917,827	令和5年度予算額(千円)	922,355

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出

施策の柱① 公園、緑地の適正な維持管理の推進

施策の柱② みどりの保全と創出

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
市民1人当たりの都市公園面積	↑	3.3㎡/人	3.3㎡/人	3.3㎡/人
緑地の面積	→	607ha	601ha	597ha



<写真⑰>
公園施設長寿命化事業（向原公園）



<写真⑱>
街区公園整備事業（軽井沢公園）

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 公園、緑地の適正な維持管理の推進

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
都市公園の遊具等の改修、更新数（累計）	142基	75基	92基	118基
公園サポーター制度による協働管理の公園数	50か所	40か所	40か所	38か所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	公園維持管理に要する経費	担当課	公園緑地課
概要	都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事を実施する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
公園の清掃、樹木の剪定、施設の修繕などを実施し、公園緑地の適切な維持管理の推進ができたが、施設の老朽化などにより修繕の件数は増えた。また、公園や緑地の面積が増えたことにより、管理委託する公園数が増えた。		公園施設の適正な維持管理に努める。また、公園サポーターと密に調整を行い、公園の状況に応じた管理を行う。	
令和4年度決算額(千円)	231,514	令和5年度予算額(千円)	205,180

事務事業名	公園施設長寿命化事業	担当課	公園緑地課
概要	公園施設の長寿命化計画に基づき、計画的な更新、改修を行うことにより、公園施設の安全を確保する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
2 1 施設の更新工事の実施により施設の長寿命化、利用者の安全の確保及び財源平準化ができ大幅に改修、更新数を伸ばすことができた。また新たな長寿命化計画を策定し、令和15年度までの計画の策定ができた。 ⇒P48 写真⑰参照		新たに策定した、長寿命化計画に基づき、維持管理を実施するとともに新たな長寿命化計画を策定する。	
令和4年度決算額(千円)	34,636	令和5年度予算額(千円)	14,210

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出

施策の柱② みどりの保全と創出

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
保全林指定数	10か所	10か所	10か所	10か所
公園等設置数	256か所	243か所	245か所	244か所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	緑化推進に要する経費	担当課	公園緑地課
概要	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、保全林等の指定、用地取得などを行い、緑の保全と創出を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
令和4年度分の緑道整備事業の用地購入費を支払った（令和7年度に支払い完了）。公園用地の賃貸借を行った。保全林、保存樹木及びふれあいの森にみどりの保全助成金の交付を行った。		公園用地の賃貸借、ふれあいの森、保全林等の指定により緑の保全に努め、緑とふれあえる場を提供する。	
令和4年度決算額(千円)	70,606	令和5年度予算額(千円)	20,619

事務事業名	街区公園整備事業	担当課	公園緑地課
概要	街区公園整備のための用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
丸山三丁目ふれあいの森の用地取得が完了した。旧第一学校給食センターの公園整備は、軽井沢公園として令和4年6月に開設した。 ⇒P48 写真⑱参照		鎌ヶ谷一丁目ふれあいの森公園の整備工事を実施し、供用開始する。（仮称）丸山三丁目ふれあいの森公園の測量・実施設計及び囃子水公園の再整備に伴う基本計画を策定する。	
令和4年度決算額(千円)	97,791	令和5年度予算額(千円)	83,782

事務事業名	緑の基本計画策定事業	担当課	公園緑地課
概要	緑地の保全及び緑化の推進に関する基本方針及び施策を定める。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
令和5年3月に緑の基本計画の策定を完了し、製本も終えた。		—	
令和4年度決算額(千円)	7,321	令和5年度予算額(千円)	0

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

施策の柱① 計画的な道路網の整備

施策の柱② 既存の道路空間の安全性、快適性の確保

施策の柱③ 道路の適正な維持管理及び交通安全対策の推進

(1) 施策の状態指標 (目指す方向性) の実績

施策の状態指標 (目指す方向性) の名称	目指す方向	R2	R3	R4
市道延長	↑	244km	245km	246km
交通事故発生件数	↓	249件	254件	215件



<写真⑱>

新京成線連続立体交差事業 (区画道路)



<写真⑳>

歩道等整備事業 (横断歩道のカラー化)

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 計画的な道路網の整備

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
都市計画道路整備率	38.7%	33.2%	33.2%	33.2%
都市計画道路事業認可区間における用地取得率	100%	48.5%	51.7%	53.4%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	主要市道整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	主要市道の歩道整備や舗装改良などを行い、利用者の安全性・利便性を高め生活環境の向上を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
<p>軽井沢周回道路整備工事を実施した。</p> <p>市道22号線道路改良工事を実施した。</p> <p>舗装修繕調査及び舗装改良工事を実施した。</p>		<p>交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済み箇所は暫定的な工事を行い歩行者の安全性の確保に取り組む。</p> <p>国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。</p>	
令和4年度決算額(千円)	111,262	令和5年度予算額(千円)	192,181

事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	交通の円滑化と周辺地域の利便性向上を図るため、県道船橋我孫子線のバイパス道として県が事業主体となり整備を進めている。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
<p>バイパス整備に伴う必要な用地について、物件補償などの調査を実施し地権者と交渉を行い、その経費にかかる地元負担金を県へ支出した。</p>		<p>引き続き、千葉県と連携し情報共有を図りながら効率的な用地取得に取り組む。</p>	
令和4年度決算額(千円)	1,959	令和5年度予算額(千円)	8,850

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

事務事業名	新京成線連続立体交差事業	担当課	道路河川整備課
概要	千葉県が事業主体となり、本市の中心市街地を東西に走る新京成線を高架化し、踏切を除却することで地域分断や交通渋滞の解消など安全性及び利便性を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
千葉県、新京成電鉄と連携し、関連側道等の周辺整備に着手した。 ⇒P51 写真⑱参照		仮線撤去後、民有地等の借地返還及び関連側道などの周辺整備を進める。	
令和4年度決算額(千円)	124,576	令和5年度予算額(千円)	157,624

事務事業名	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	新鎌ヶ谷地区を東西に連絡する都市計画道路を整備することにより周辺地区の交通渋滞などを解消させるとともに歩行者等の安全性を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備に伴う用地を取得した。		国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。 引き続き用地取得に取り組む。	
令和4年度決算額(千円)	133,981	令和5年度予算額(千円)	125,768

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線(中沢)整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	千葉県が事業を進めている大柏川第二調節池整備に合わせ、区域内に位置する都市計画道路3・4・10号の一部について用地を確保するもの。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
大柏川第二調節池及び都市計画道路3・4・10号北初富中沢線の用地交換対象箇所の用地測量を実施した。		県と市で協定に基づく取得済み用地の交換作業が速やかに行えるよう県と連携を図る。	
令和4年度決算額(千円)	3,280	令和5年度予算額(千円)	0

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

施策の柱② 既存の道路空間の安全性、快適性の確保

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
主要市道、一般市道改良延長	870m	717m	717m	787m
交差点改良事業における用地取得率	100%	40.3%	48%	48%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	交差点改良事業	担当課	道路河川整備課
概要	交通量の多い主要な交差点を対象に歩道設置や右折車線等の交差点改良を実施し利用者の安全性の向上を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
市道22号線交差点改良に伴う物件調査を実施した。 市道22号線交差点改良で取得した用地の保全工事を実施した。		交付金を活用し事業の推進を図るとともに、 用地取得済み箇所は暫定的な工事を行い歩行者の安全性確保に取り組む。 国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。	
令和4年度決算額(千円)	2,405	令和5年度予算額(千円)	15,949

事務事業名	一般市道整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	一般市道において、道路排水施設の整備、舗装改良、狭あい路線の拡幅を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
舗装修繕が必要な路線の工事を実施した。 市道2107号線道路整備事業に必要な用地を取得した。		国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。 引き続き用地取得に取り組む。	
令和4年度決算額(千円)	23,081	令和5年度予算額(千円)	81,869

事務事業名	私道整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
前年度に申請のあった私道について、整備工事を実施した。		申請のあった際には早期に私道整備工事を発注することが出来るよう、申請者と調整を行う。	
令和4年度決算額(千円)	1,955	令和5年度予算額(千円)	2,536

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

施策の柱③ 道路の適正な維持管理及び交通安全対策の推進

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
交通安全教室の開催数	22回	6回	15回	16回
交通安全施設更新件数（累計）	155基	75基	81基	90基

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	交通安全対策に要する経費	担当課	道路河川管理課
概要	交通安全意識向上のため、警察等の関係機関と連携し、交通安全運動を通じての啓発活動や小中学生、未就学児童を対象とした交通安全教室を開催し、交通ルールの指導を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
高齢者、小中学生、未就学児童を対象とした交通安全教室の実施		啓発活動の継続と強化。	
令和4年度決算額(千円)	12,267	令和5年度予算額(千円)	26,615

事務事業名	歩道等整備事業	担当課	道路河川管理課
概要	歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯、ガードレール、道路反射鏡、道路標識等の交通安全施設の整備を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
道路反射鏡 12基 交通立看板 18基 道路区画線 6,584m ラバーポール 101基 車止め 6基 グリーンベルト 415.8㎡ ⇒P51 写真⑳参照		歩道等総合整備計画に基づく対策のより効果的な推進。	
令和4年度決算額(千円)	17,767	令和5年度予算額(千円)	0

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

事務事業名	交通安全施設更新事業		担当課	道路河川管理課
概要	経年劣化により老朽化した各種安全施設（道路反射鏡等）の更新工事を行う。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
更新	交差点鉾 2 基、交通立看板 3 基、道路反射鏡 9 基、ガードレール 1 基、	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の検討。		
補修	ガードレール 1 基			
令和4年度決算額(千円)	2,578	令和5年度予算額(千円)	2,600	

事務事業名	道路照明灯管理・LED化推進事業		担当課	道路河川管理課
概要	令和2年度にリース方式で整備したLED道路照明灯について、維持管理を行う。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
灯具の不具合については委託業者と調整し、LEDライトの交換を2基行った。		リース契約による適切な維持管理。		
令和4年度決算額(千円)	15,253	令和5年度予算額(千円)	0	

事務事業名	道路維持・補修事業		担当課	道路河川管理課
概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報も基に調査、検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
○道路補修・清掃委託 ○排水管（溝）清掃委託 ○道路維持工事		日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の検討。		
令和4年度決算額(千円)	136,266	令和5年度予算額(千円)	214,665	

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

施策の柱① 緑あふれる快適な魅力あるまちづくり

施策の柱② にぎわいと活力ある市街地の整備

施策の柱③ 公共交通体系の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
社会増加数（市内転入者数と転出者数の差）	↑	294人	374人	240人
市内8駅（東武野田線2駅、新京成線5駅、北総線・成田スカイアクセス線1駅）の1日当たりの乗降客数	↑	127,123人	138,305人	152,927人



<写真⑳>
都市計画マスタープラン策定事業



<写真㉑>
コミュニティバス運行助成事業

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 緑あふれる快適な魅力あるまちづくり

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
まち並みや景観の満足度	60%	-%	28%	38%
新鎌ヶ谷地区事業所数	340事業所	340事業所	349事業所	363事業所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	都市計画事務に要する経費	担当課	都市計画課
概要	市の都市計画について適正な誘導と計画に沿ったまちづくりを実現するため、都市計画に関する様々な事項を審議会に諮る。また、法令に基づく許可、届出業務を実施し、用途地域等の都市計画情報を提供する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
生産緑地地区の追加指定・廃止、特定生産緑地の指定について都市計画審議会を開催し都市計画変更の手続きを行った。		都市計画変更に関する様々な事項について、都市計画審議会に諮り手続きを進める。	
令和4年度決算額(千円)	6,780	令和5年度予算額(千円)	4,655

事務事業名	景観形成事務に要する経費	担当課	都市計画課
概要	鎌ヶ谷市景観条例に基づき、重点地区の届け出制度及び景観審議会、景観アドバイザーなどの専門的意見の活用、市民と事業者等の理解と協力によって、望ましい景観の確保と誘導を図るもの。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
令和4年10月12日景観審議会開催。景観条例に基づく届出は45件あり事務処理を行った。景観アドバイザーに図る案件はなかった。		景観届出内容について、現状を景観審議会に報告し検証を行う。また、市と事業者が行っている届け出事務の円滑化を図る。	
令和4年度決算額(千円)	34	令和5年度予算額(千円)	71

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

事務事業名	都市計画マスタープラン策定事業	担当課	都市計画課
概要	平成14年度に策定した「都市計画マスタープラン」について、目標年次がおおむね20年後となっていることから、新たな「都市計画マスタープラン」の策定を行うもの。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
都市計画マスタープラン策定部会（2回）及び策定委員会（2回）を実施し、都市計画マスタープラン（案）をとりまとめ、オープンハウス、パブリックコメントを実施し、都市計画マスタープランを策定した。 ⇒P57 写真⑳参照		—	
令和4年度決算額(千円)	7,611	令和5年度予算額(千円)	0

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

施策の柱② にぎわいと活力ある市街地の整備

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
駅前広場整備着手数	2件	1件	2件	2件
新鎌ヶ谷駅の1日当たりの乗降客数	116,000人	83,045人	91,604人	102,949人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	都市軸形成促進事業		担当課	都市計画課
概要	都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
市道11号線の拡幅に必要な土地について、物件補償などの調査を実施した。		用地の確保や事業への理解が得られるよう関係地権者と合意形成を図る。		
令和4年度決算額(千円)	3,410	令和5年度予算額(千円)	1,716	

事務事業名	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業		担当課	都市計画課
概要	新鎌ヶ谷駅周辺地区が、魅力と活気にあふれる広域交流拠点として形成されるよう、土地利用の推進や通路の整備等を行う。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
中街区の歩行者専用道路の整備に必要な路線測量及び詳細設計を実施した。		新鎌ヶ谷地区中街区を中心とした回遊性を確保するための歩行者専用道路の整備工事を行う(令和5年12月までに供用開始予定)。		
令和4年度決算額(千円)	2,024	令和5年度予算額(千円)	51,800	

事務事業名	近隣商業拠点整備事業		担当課	都市計画課
概要	近隣商業拠点の一翼を担う北初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
駅前広場の進入路に必要な土地に関する現況測量や予備設計を発注するとともに、買収予定地の不動産鑑定を実施した。		用地の確保や事業への理解が得られるよう関係地権者と合意形成を図る。また、計画区域内にある所有者不明土地の隣接地の取得に向けて、弁護士相談等により方針を決定する。		
令和4年度決算額(千円)	1,912	令和5年度予算額(千円)	3,918	

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

施策の柱③ 公共交通体系の充実

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
公共交通に対する満足度	70%	- %	46%	52%
コミュニティバス利用者数	167,000人	87,445人	106,672人	121,755人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	コミュニティバス運行助成事業		担当課	都市計画課
概要	市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図るもの。			
令和4年度の実績		令和5年度の実績		
令和5年度運行については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度提言に基づく運行計画について実施を見送り、令和6年度運行は現運行を1年間継続することとした。 ⇒P57 写真②参照		新鎌ヶ谷駅「ききょう号」バス停について、上屋ベンチを設置する。 鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会による検討。		
令和4年度決算額(千円)	74,859	令和5年度予算額(千円)	85,272	

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

施策の柱① 商工業の発展と中小企業の経営強化

施策の柱② 企業誘致の推進と雇用環境の整備

施策の柱③ 観光客のニーズの変化に対応した観光施策の推進

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R2	R3	R4
市内の事業所数（経済センサス 基礎、活動調査）	↑	—	3,178事業所	—
製造業の事業所数（経済産業省 工業統計調査）	↑	93事業所	87事業所	—



<写真⑳>
創業支援事業（創業支援セミナー）



<写真㉑>
観光振興に要する経費（高校生フォトコンテスト）

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 商工業の発展と中小企業の経営強化

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
創業支援セミナー参加者数	150人	124人	151人	158人
市制度融資実行件数	30件	21件	18件	28件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	商工業振興に要する経費	担当課	商工振興課
概要	市内に存在する企業の大半を占める中小企業や経済活動を行う団体に対して、補助金の交付やイベントの共同事業などで支援を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
市内商工業の振興及び商店会の活性化を担う団体（商工会、商店会連合会、ふるさと産品協会、その他商工業振興団体12団体）に補助金を交付した。		新型コロナウイルス感染症が5類に移行するなど、人が集まるイベント等の実施のハードルが下がったことから、消費者や地域とのつながりを深める取り組みの再開の後押しをしていく必要がある。	
令和4年度決算額(千円)	23,507	令和5年度予算額(千円)	25,413

事務事業名	中小企業資金融資等に要する経費	担当課	商工振興課
概要	中小企業に対する資金融資や融資の利子に対する利子補給など、中小企業支援を行う。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
国、県の融資制度が整備される中、市の制度融資利用者に対しても利子補給率の拡充や信用保証料の補給を行うことで借入しやすい環境を整えた。また、経営支援給付金を1,738事業者に給付した。		中小企業が資金調達をしやすいするため、市制度融資や利子補給金を必要に応じて着実に実行する。	
令和4年度決算額(千円)	190,877	令和5年度予算額(千円)	98,055

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

事務事業名	プレミアム商品券発行事業	担当課	商工振興課
概要	10,000円で12,500円分の買い物ができるプレミアム商品券を販売し、市内の消費の底上げを行うことで地域の活性化を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の取組内容	
プレミアム商品券を10,000冊発行し、10,000冊全てを販売することができた。 発行金額125,000,000円、換金額124,628,000円（換金率99.7%）		—	
令和4年度決算額(千円)	39,197	令和5年度予算額(千円)	0

事務事業名	空き店舗活用事業	担当課	商工振興課
概要	賑わいの創出を図るため、商店会の空き店舗を活用し、出店する人に対し、店舗改装費等の総額2分の1（上限100万円）を補助する。		
令和4年度の実績		令和5年度の取組内容	
3件の補助金交付決定を行った。		より多くの方に活用してもらえよう積極的に周知を行う。また、本事業活用者に対し事業継続に繋がるようフォローアップを行う。	
令和4年度決算額(千円)	3,000	令和5年度予算額(千円)	3,000

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

事務事業名	創業支援事業	担当課	商工振興課
概要	民間事業者に業務委託し、創業支援セミナーを開催する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
創業支援セミナー（基礎コース2回、実践コース5回、テーマ特化コース3回）及び個別相談会を開催した。 ⇒P62 写真㊸参照		前年度の実施状況も踏まえ、開催時期や開催期間等、開催方法について検討し、参加者によりよいセミナーとなるよう努め、増加及び出席率の向上を図る。	
令和4年度決算額(千円)	2,690	令和5年度予算額(千円)	3,000

事務事業名	コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業	担当課	商工振興課
概要	コミュニティビジネス事業やベンチャービジネス事業を行う対象者に補助金を交付し、新たに起業する人や市内の事業者のチャレンジを応援する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
法人3件、個人事業主1件、個人1件の補助金交付決定を行った。		実績報告会では補助金を活用した事業者間で連携して新しい事業を行いたいといった声が挙がるなど、事業実施による成果が見られる。 現行の取り組みを続けるとともに、事業者間の更なる連携に寄与するよう事業者へ積極的な実績報告会への参加を促す。	
令和4年度決算額(千円)	4,507	令和5年度予算額(千円)	4,507

事務事業名	キャッシュレス決済ポイント還元事業	担当課	商工振興課
概要	市内の対象店舗における支払いの際にキャッシュレス決済サービス（Pay Pay）を利用した場合、決済1回につき1,000円相当、期間中合計5,000円相当を上限とし、当該消費者に対し20%のポイントを付与する。		
令和4年度の実績		令和5年度の実組内容	
2月1日から11日間の実施で、決済額は664,338,063円となり経済効果も大きく市内事業者及び市民生活の支援に繋がった。		—	
令和4年度決算額(千円)	120,570	令和5年度予算額(千円)	0

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

施策の柱② 企業誘致の推進と雇用環境の整備

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
企業誘致件数（累計）	3件	0件	0件	0件
無料職業紹介所の紹介による就職人数	130人	55人	49人	52人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	雇用安定事務に要する経費	担当課	商工振興課
概要	中小企業退職金共済掛金補助金の交付や無料職業紹介の充実及び就職支援セミナー等の開催により雇用の安定化を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
就職支援セミナーや若者を対象とした就職相談を毎月開催し、参加者に無料職業紹介所を周知した。また、市広報等により、中小企業退職金共済掛金補助金や永年勤続優良従業員表彰の周知を行った。		無料職業紹介所を多くの方に活用してもらえるよう積極的に周知を行う。併せて、各種就職支援セミナーを近隣自治体と連携して実施し、積極的な就職支援を行う。また、市広報誌・ホームページにより中小企業退職金共済掛金補助金の周知を図る。	
令和4年度決算額(千円)	3,973	令和5年度予算額(千円)	4,523

事務事業名	企業誘致基本計画推進事業	担当課	商工振興課
概要	企業誘致基本計画、企業誘致促進条例及び施行規則に基づき、プロジェクトマネージャーを活用した企業・地権者訪問などを実施するとともに、企業立地奨励金等を活用し、企業誘致の促進を図る。		
令和4年度の実績		令和5年度の実績	
配置したプロジェクトマネージャーが中心となって、不動産事業者や金融機関を訪問した。		担当者情報共有会議による庁内連携強化に加え、金融機関との更なる連携強化を行っていく。また、マッチングシステムを強化するため、新たに産業用不動産物件情報の共有に関する協定を締結する。	
令和4年度決算額(千円)	3,953	令和5年度予算額(千円)	5,084

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

施策の柱③ 観光客のニーズの変化に対応した観光施策の推進

成果指標の名称	目標値	R2	R3	R4
観光入込客数	410,000人	149,132人	165,851人	195,143人
観光イベント参加者の満足度	80%	—	80%	98.6%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	観光振興に要する経費	担当課	商工振興課
概要	観光イベントや観光PR等、本市の魅力発信に資する取組を行う。また、鎌ヶ谷市ふるさと産品協会が実施する宣伝及び販売促進事業等に係る経費に対し、交付基準により補助する。		
	令和4年度の実績	令和5年度の実績	
	観光タウンミーティングについては、令和5年度の観光ビジョン策定に向け、市民・事業者とのワークショップを実施した。また、3年ぶりに実施した高校生フォトコンテストは、70点の応募があった。 ⇒P62 写真⑳参照	観光は総合産業という視点のもと、引き続き観光ビジョンに基づき事業を実施するとともに、現行の観光ビジョンは今年度末までであるため、新たな観光ビジョンを策定する。また、本市の観光資源である北海道日本ハムファイターズとの連携強化に取り組むとともに、同球団の1軍本拠地である北広島市との連携に向けて調整を行う。	
	令和4年度決算額(千円)	920	令和5年度予算額(千円) 2,387



梨の花



貝柄山公園

鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和4年度事業に係る効果・検証

編集：鎌ヶ谷市 総務企画部 企画財政課 企画政策室

〒273-0195

鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 2-6-1

電話 047-445-1141

F A X 047-445-1400

